




SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
1	東江開発株式会社 代表取締役 東江 勝	<p>私たち東江開発(株)は、地域環境の保全と持続可能な社会の実現を目指し、以下の活動を通じて、SDGs の達成に貢献するため、社員一同及び利害関係者と共に実践します。</p> <p>★社員（関係者）の安全と健康（3すべての人に健康と福祉を、8働きがいも経済成長も）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うちな一健康経営宣言、健康診断の徹底、インフルエンザ予防接種を行い、従業員の健康を最優先に考え良好な労働環境を提供します。 ・労働災害ゼロを達成するため、施工現場では安全衛生活動の徹底、安全衛生規則の遵守の徹底を継続します。 <p>★社員の教育、力量アップへの取り組み（4質の高い教育をみんなに）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得・免許取得サポートを充実させ従業員の専門知識と技能向上をサポートするため、資格取得費用の提供、社内での勉強会等を実施し、良質な教育の機会を提供します。 <p>★社会的な貢献（11住み続けられるまちづくりを、17パートナーシップで目標を達成しよう）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市内循環バス協力金の寄付 <p>沖縄市内の公共交通の発展に貢献し、持続可能な都市開発をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連団体との災害協定を締結し、災害時の迅速な対応と復旧支援を通じ、地域社会のレジリエンス強化に取り組みます。 <p>★環境への取組（11住み続けられるまちづくりを、12つくる責任つかう責任、13気候変動に具体的な対策を、17パートナーシップで目標を達成しよう）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工現場では、建設機械の騒音・振動・排ガスによる地域社会への影響を抑えるため、低騒音型・低騒音型建設機械を積極的に採用し環境負荷低減施工の実現を目指します。 ・施工現場では環境に配慮した資材として、ゆいくる材、リサイクル資材の使用を推進します。 ・地域の清掃活動を通じて、地域社会との連携を深め環境保全に貢献します。 ・事務所内ペーパーレス化を促進するため、デジタル化を推進し資環境負荷低減と効率的なリソース管理を行います。 ・ISO90001（品質）、14001（環境）、の認証を継続し品質向上・環境対策をマネジメントシステムとして運用します。 	 <p>The image shows seven SDG icons arranged in two rows. The top row contains icons for goals 3 (Health and Well-being), 4 (Quality Education), 8 (Decent Work and Economic Growth), and 11 (Sustainable Cities and Communities). The bottom row contains icons for goals 12 (Responsible Consumption and Production), 13 (Climate Action), and 17 (Partnerships for Goal Achievement).</p>


SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
2	株式会社うちなー うえぶ 代表取締役 十島 洋輝	<p>株式会社うちなーうえぶは、沖縄を拠点にして、インターネット広告代理事業を主軸に、SEO/WEB集客/HP制作などを行っています。</p> <p>また、SDGsの達成に向けて下記に取り組んでいます。</p> <p>特に、仕事と子育ての両立を支援する職場環境を整備と、すべての従業員が健康に安心して働けるワーク・ライフ・バランスに取り組み、次世代につながる組織づくりを実践しています。</p> <p>【具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の育児休業取得率 90%以上 ・家賃補助や子供手当制度の整備 ・3歳以上の子を養育する社員も対象とした育児短縮時短勤務の導入 <p>取り組みの結果、下記の認定を取得しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年9月28日：次世代育成認定マーク くるみん認定 ・平成30年2月22日：沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業認証 <p>その他にもSDGsの達成に向けた取り組みを行っています。</p> <p>コンプライアンスの徹底と高い倫理観を持った事業活動を通じて、新たな価値や社会課題を解決するサービスを創出し、地域・社会から必要とされる企業を目指しています。</p> <p>【具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護、法令順守の徹底 ・従業員への情報セキュリティ教育の実施 (全従業員を対象に情報セキュリティ教育クラウドサービスを活用した教育) ・限りある資源の有効活用、環境への負担軽減を目的としたペーパーレス化を推進 (紙ベースの事務手続きを減らすなど) ・公共交通機関利用促進 (渋滞やCO2排出量への取り組み) <p>さらに、多様な人材が自分らしく働ける職場づくりに取り組んでいます。</p> <p>【具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別や国籍を問わない人材の確保、育成 ・ダイバーシティ経営の促進 ・社内イベントやスポーツサークル活動等による社内交流の推進 <p>ともに働く仲間を尊重しあい、それぞれの個性と能力を発揮してイノベーションを創出する組織づくりを推進します。</p> <p>また、人材育成・社員の定着化(定着率向上)を目標に組織づくりにも取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇の取得促進 ・時間外労働時間の短縮(月平均5時間) <p>沖縄県の労働環境の問題と労働生産性の改善に引き継ぎ取り組んでまいります。</p>	


SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
3	MS ふぁみーゆ株式会社 社長 洞口 一美	<p>MS ふぁみーゆ株式会社では、持続可能な開発目標（SDGs）を推進するために、現在以下の取り組みを行なっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SDGs 4 「質の高い教育をみんなに」 スキューバダイビングのライセンス講習受講者や、ダイビングツアーへの参加者に対して、自然環境の保護に関する情報を提供します。具体的には、沖縄本島や慶良間諸島周辺海域に生息する生物の多様性や、同海域に漂着する海洋ゴミの引き起こす問題、海水温の上昇に伴うサンゴの白化、海や環境に関連する地域の文化といった問題について解説を行います。また、教育機関の実習生の受け入れを積極的に行います。さらに、店舗の一角を使って、自然環境の保護や地域の文化に関するポスターなどの資料を展示します。 ・ SDGs 8 「働きがいも経済成長も」 自然環境の保護や地域社会の問題についてスタッフが学び、考え、意見を交換する機会を作ります。それによって、ダイビング関連事業を通じて環境保護やより良い地域社会の創出に貢献することを再確認し、意欲をもって日々の業務に取り組むことを目指します。 ・ SDGs 14 「海の豊かさを守ろう」 他の団体や企業と協力しながら、海洋ゴミの回収、サンゴの保護活動といった、海洋保全活動に取り組み、沖縄の海の豊かさを守ります。また、講習やツアーの実施に際しては、可能な限り海の生物に害を与えないように配慮します。講習やツアーの参加者に対しては、ゴミの分別や持ち帰り、サンゴに害を及ぼし難い日焼け止めの利用、海の生物に触らないといった配慮などを呼びかけます。 ・ SDGs 17 「パートナーシップで目標を達成しよう」 上記のような活動を推進するために、地域の団体や企業、教育機関等と連携し、情報交換や協力体制の構築に努めます。また、沖縄県外の人々に対しても上記の取り組みを発信し、情報交換に努め、交流を深めます。 	 <p>4 質の高い教育をみんなに 8 働きがいも経済成長も 14 海の豊かさを守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>


SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
4	ケアメド株式会社 代表取締役 丹野 博貴	<p>ケアメドは企業理念である『沖縄から医療と介護を変える』に基づいた事業活動に取り組んでまいりました。</p> <p>●障がいのない社会を創るために、訪問看護と訪問介護事業所の運営で障がい者の生活をサポートをする 障がいのある方へ医療と介護で生活をサポートする事業所を沖縄市で運営する。 障がいの方がご飯を作れない方へご飯を作ってあげてる家事支援やお風呂や着換えができない方へお手伝いをする 身体介護などで生活をサポートして参ります。医療度が高い方への生活をサポートすることで、利用者様と利用者様のご家族を幸せにする。</p> <p>●高齢者雇用の促進に取り組んでいる 当社の定年は 70 歳に設定しており、希望すれば 75 歳まで働くことができる制度とっており、 高齢者の方への雇用創出に力を入れております。</p> <p>●就労支援 A 型事業所にて障がい者の雇用を促進する ケアメドワークスという就労支援を立ち上げて、沖縄市で障がい者の雇用を創出している。</p> <p>●貧困をなくすための人材教育制度 従業員の能力向上に向けた資格取得支援制度を実地してる。 これによって従業員は一定の資格を会社の費用で取得することができ、結果、所得が向上する。</p> <p>●男女関係なく、所得向上できる職場環境 沖縄県所得向上応援企業認証制度に認定されており、男女関係なく所得向上を目指していける環境であること。 所得向上するためには、会社の評価制度、透明性、誰もが所得向上をできるようにサービス研修に力をいれてます 男女関係なく、サービスに力を入れていくことで、ご利用者の満足度の向上にもつながり、結果として会社の成長が実現します。 障がい者雇用を推進し、年齢や性別、障がいの有無に関係なく全スタッフが働きがいをもって仕事ができる環境をつくり推進しています</p>	 <p>1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>


SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
5	<p>CENTRIC 株式会社 代表取締役 山田 亮</p>	<p>CENTRIC 株式会社は、「コンタクトセンター運営事業」を中心に、これまで蓄積した知見を活かす「コンタクトセンターコンサルティング事業」 技術先進立国として先進テクノロジーの開発を牽引する「音声感情解析サービス開発研究および販売事業」、地震など災害に対する備えと日本各地のギフトを全国にお届けする「EC サイト運営 / 保存水販売事業」を展開しています。 弊社ミッションとして「心豊かな社会の実現」を掲げており、実現するためには共に働く社員の方たちが一定の生活水準を満たしているべきだと考えております。少しでも、社員の方々や地域の方々へ還元出来るよう努め、社会と共存できるように取り組んで参ります。</p> <p>■主な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正社員の最低給与額の見直し ・ 永年勤続報奨金制度の制定 (2022 年 7 月) <p>永年勤続報奨金制度を制定し、永い間、当社運営に貢献してくださった社員に対して感謝の意をお伝えするとともに報奨金をお支払いすることと致しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年 1 回健康診断の実施 ・ 受動喫煙防止ポスターの掲示 ・ 節水ポスターの掲示 ・ ゴミの分別 ・ こども手当支給 ・ 社内外の研修 (管理者研修、Excel 研修) の実施 ・ 女性活躍推進 <p>雇用比率 女性 72.2% 男性 27.8% (2024 年 1 月) 管理者比率 女性 60% 男性 40% (2024 年 1 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄県所得向上認証制度の認証 (安定的な雇用) 	 <p>The image shows five SDG icons: 1 (貧困をなくそう), 3 (すべての人に健康と福祉を), 4 (質の高い教育をみんなに), 5 (ジェンダー平等を実現しよう), and 8 (働きがいも経済成長も).</p>


SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取組み	関連するゴール
6	有限会社竹建設 代表取締役 棚原 喜久子	<p>当社は建設工事業を通して地域の方々が暮らし街づくりに協力しております。</p> <p>また、SDGs の取組み方針としては当社で LED や女性活躍などに取り組む他、取引先様に対しても当社で取り組んでいる事例を基に環境時代に配慮した取組みを地域として取り組めるよう横展開を行うこととしております。例えば、工事を共同で行っている他社と共に工事現場付近の清掃活動を行っています。また、LED電球を卸している会社を取引先に紹介する等の活動も行っております。</p> <p>事務所の電球を LED に変更したことや、社有車をハイブリット車に変更するなどの環境に配慮した設備投資を推進しております。</p> <p>男性を含めた育児休暇・介護休暇取得の促進、うちな一健康経営宣言、女性社長の登用に取り組んでおります。また、外国人技能実習生の導入も検討しております。</p> <p>道路工事や船舶事業を通して社会インフラの整備を行っています。具体的には路面が悪化した道路の舗装や海上の浮標灯メンテナンス・軽石除去などに取り組ましました。</p> <p>①環境に配慮した取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LED電球を導入し、環境に配慮した製品の活用に取り組んでおります。具体的には取引先企業様のご協力の基、当社の事務所の電球を蛍光灯から LED電球に変更し、材料・製品を長期的に使用し、ゴミを減らすことにつながり環境に配慮した取組みを行っております。また、夜間作業時のライトをLED電球に変更しております。 ・ 月1回地域の清掃活動に参加し、自然保護活動を行っています。具体的には事務所近所の清掃を月1回以上取引先の企業様と一緒に取り組み、街をきれいにすることにより、地域の持続的成長につなげております。 <p>②働き方改革と人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ うちな一健康宣言を基に従業員が働きやすい環境づくりに取り組んでおります。具体的には有給消化率100パーセントを徹底すること・産休育休を積極的に取得する環境づくりを行っています。その結果として有給消化率100パーセント・育休は最低でも2週間以上企業として取ることが従業員の中で徹底されております。 ・ 女性の役員登用を行い、会社として女性活躍推進を強化しております。具体的には社長を女性社長とし、建設業＝男性というイメージを変えるイメージ戦略を行っています。 	 <p>3 3 すべての人に健康と福祉を 8 8 働きがいも経済成長も 10 10 人や国の不平等をなくそう 11 11 住み続けられるまちづくりを</p>


SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
7	照屋電気工事株式会社 代表取締役社長 上江洲 博	<p>当社は、電気工事業を生業とし、1972年の創業から50周年を迎えました。 「顧客に満足を与え、地域社会へ貢献し、快適な社会環境の確保に努める企業を目指す」を基本理念に掲げ、持続可能な社会の実現を目指します。</p> <p>＜安全で品質の高い技術・サービスの安定供給＞ ISO9001に基づいた、安全で高品質の技術やサービスを提供すると共に、全社員が一丸となり、継続的に供給できる体制を構築致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気設備工事を通じた社会インフラや生活の基盤の整備 ・技能講習、国家資格取得費用を補助し、技術力の向上をサポート ・新人教育やインターンシップの受け入れによる技術者育成への寄与 ・デジタル技術の活用による業務効率化で働きやすい職場づくりを推進 ・ワークライフバランスを意識した有給休暇取得の推進、バースデー休暇の導入 ・年1回の健康診断、人間ドックによる社員の健康維持 <p>＜環境に配慮した事業活動の実施＞ ISO14001に基づいた、産業廃棄物の低減、自然エネルギーの利用、汚染の防止活動を行い、地球温暖化を防ぐ取組に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ、産業廃棄物の分別、再利用の徹底 ・省エネ、再エネ設備工事を通じた環境負荷低減と再生可能エネルギー利用の推進 ・デジタル技術の活用によるペーパーレス化 ・社用車にハイブリットカーを導入し、CO2の排出を抑制 ・燃料、電気、水の使用量を確認し、意識付けによるエネルギー消費の抑制 <p>＜地域社会への貢献＞ 経営理念に基づいた企業活動を通じて、快適で安心な社会環境づくりを行い、地域社会の発展に貢献して参ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な地域貢献活動（地域清掃） ・育英会、社会福祉団体への寄付 	 <p>The image shows a grid of 12 SDG icons. The icons are: 1 (貧困をなくそう), 3 (すべての人に健康と福祉を), 4 (質の高い教育をみんなに), 6 (安全な水とトイレを世界中に), 7 (エネルギーをみんなにそしてクリーンに), 8 (働きがいも経済成長も), 9 (産業と技術革新の基盤をつくろう), 11 (住み続けられるまちづくりを), 12 (つくる責任 つかう責任), 13 (気候変動に具体的な対策を).</p>


SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
8	中城湾港運株式会社 代表取締役社長 桑江 浩	<p>・作る責任・使う責任 1. 当社では経営理念【限りある資源を大事に循環型社会の構築に貢献する】を掲げ、ごみの分別はもちろん、使用不可となった自社コンテナ、木材パレット、機材等は資源リサイクルに活用するなど、再生資源の利用を図り環境保全活動に努めています。</p> <p>・質の高い教育をみんなに 2. 安全衛生研修をはじめ、各種スキルアップ講習など職場的スキルを向上させる機会を積極的に導入し、【安全第一への意識向上】に努めています。</p> <p>・海の豊かさを守ろう、陸の豊かさを守ろう 3. 港湾入口及び周辺地域において定期的に清掃活動を行い美化に努めています。 また、作業時に屑や粉塵が海へ飛散しないよう防護ネットやクリーニング作業で環境保全に努めています。</p> <p>・すべての人に健康と福祉を 4. 社員一人一人が健康を維持するために福利厚生として自社トレーニングジムを完備し健康な体作りができる環境を揃えています。また定期的な健康診断を行い、希望する社員には人間ドックを受けてもらい健康維持に努めています。 業務労働環境に向けた取り組み、働き方改革の取り組みにより、有給休暇や希望休、残業時間の軽減を積極的に行い無理のない充実した労働環境の構築に努めています。</p> <p>・エネルギーをみんなにそしてクリーンに 5. 沖縄の自然環境や生活環境との共生を目指し、バイオマス燃料の荷役作業を通してクリーンな電気を安定供給に寄与する。 営業車にハイブリット車を導入しエコドライブを推進しています。また、大型トラック及び重機に排ガスをクリーンにする装置を導入した車両を揃え環境への配慮を行っています。</p>	 <p>The image shows eight SDG icons arranged in a 2x4 grid. The top row contains icons for goals 4 (Quality Education), 7 (Affordable and Clean Energy), 9 (Industry, Innovation and Infrastructure), and 11 (Sustainable Cities and Communities). The bottom row contains icons for goals 12 (Responsible Consumption and Production), 14 (Life Below Water), 15 (Life on Land), and 17 (Partnerships for Goal Achievement).</p>

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
9	一般社団法人名護スマートシティ推進協議会 代表理事 林 優子	<p>地域間格差、少子高齢化、環境対策などの共通課題に加え、中心市街地空洞化、観光消費の伸び悩み、人材確保の必要性など名護市が抱える地域課題解決のため、デジタル技術を活用したスマートシティ推進の活動を行っています。</p> <p>具体的には地域課題のテーマ別にワーキンググループを組成し、そのワーキンググループにおいて地域課題解決のための議論・実証などが行われています。</p> <p>2024年1月現在活動中のワーキンググループは以下ですが、今後追加等の変更がある予定です。</p> <p>【活動中のワーキンググループと活動内容（2024年1月時点）】</p> <p>観光：観光コンテンツ・観光インフラ高度化の検討・実証（観光情報の発信、人流データの活用 etc.）</p> <p>交通：交通便利性の向上施策の検討・実証（交通関連データの活用 etc.）、地域人材の育成</p> <p>農業：消費拡大や生産性向上の施策検討・実証（オムニチャネル化、農業データの活用 etc.）</p> <p>まちなか再開発：中心市街地活性化や回遊性向上の施策の検討・実証（既存施設の活用、交流拠点の創出 etc.）</p> <p>スマートシティ基盤：柔軟で利便性の高い次世代データ基盤モデルの構築（観光データの調査・活用、通信インフラの利活用 etc.）</p> <p>【活動の具体例】</p> <p>①交通ワーキンググループ勉強会（2023年10月25日）</p> <p>「交通×イノベーションで目指す十勝帯広における持続的な地方創生の取組み」と「名護の交通政策のこれまでとこれから」をテーマに講演を実施。</p> <p>先進事例や名護市の交通政策に関する情報のインプットを行い、それに基づき勉強会参加者間で意見交換を実施することで、交通ワーキンググループにて取り組むべき課題・解決の方向性の検討を推進。</p> <p>②データでひも解くまちづくりワークショップ（2024年2月2,3日）</p> <p>人流データや公共交通データを地図上で可視化し、普段の感覚とデータ（根拠）との合致箇所・相違箇所を認識。</p> <p>それを基に、今後の名護にどのような施設や交通手段が必要か、自由な意見交換を行うワークショップを実施。</p> <p>ワークショップの結果はワーキンググループでの活動の検討材料として活用。</p>	

SDGs の達成に向けた取組


No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
10	<p>西日本高速道路株式会社九州支社沖縄高速道路事務所 所長 久保園 研二</p>	<p>私たちは、高速道路の安全・安心を最優先に高速道路の進化に挑み続け、地域の発展と豊かな未来の実現に貢献します。</p> <p>主な事業活動とSDGsは次の通りです。</p> <p>高速道路を通じた脱炭素社会への取り組みとして、料金所に太陽光パネルの設置、照明のLED化、クリーンエネルギー車の普及に対応した急速充電設備の整備など、省エネルギーの推進に努めています。また、循環型社会の形成に組み込みとして、事業活動に伴って排出される建設廃棄物・建設発生土など、最終処分をできるだけ少なくするなど、建設廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進をしています。</p> <p>自然と共存する社会の推進として、自然環境の保全を目的に、動物侵入防止対策に取り組んでいます。</p> <p>経過年数に伴う老朽化に加えて、交通量の増加などにより、社会基盤である高速道路整備と長期保全が必要な為、高速道路リニューアルプロジェクト（大規模更新・大規模修繕）を推し進めています。</p> <p>多発する自然災害から、地域と暮らしを守るため、災害対応力の強化を図るべく大規模災害発生時における相互協力に関する協定を自治体と締結しています。</p> <p>交通安全の取り組みとして、高速道路の安全・安心を最優先に24時間体制で道路の安全と円滑な交通を守っています。</p> <p>新しいモビリティ社会へ対応するため、ETC 利用促進（利用率の向上に向けたキャンペーンの実施及び広報活動等）に取り組んでいます。</p> <p>高速道路を通じた地域貢献を伊芸 SA で沖縄県の観光及び首里城復興関連情報などを配信したり、令和5年8月には沖縄コンベンションセンターで開催された子どもを対象とした『お仕事体験イベント』へ参加、社員全員でビーチクリーン（マナティ）活動へ参加など行っています。</p> <p>社会と社員の信頼に応え、進化し続けるグループを目指すため、ダイバーシティの推進、リモートワークの推進、挨拶運動の展開し、事務所独自の取り組みとして上司と部下の心理的安全性を高め、信頼関係を築くことによって生産性を向上させていくことを目的として『1on1（ゆんたく）ミーティング』を実施しています。</p> <p>また、社会インフラを担う企業として、ステークホルダーの皆さまへの責任を果たすため、適切なリスクマネジメント、工事の安全管理、コンプライアンスの徹底、契約に関する情報公開と適正な契約相手方の選定手続などの積極的な情報公開が重要だと考えています。</p>	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
11	日本公認会計士協会 沖縄会 会長 金沢 信昭	<p>当沖縄会では、沖縄会独自の SDGs の取組のほか、日本公認会計士協会本部が掲げる SDGs 宣言の通り、SDGs 達成に向けて取組みも行っております。</p> <p>【沖縄会の取組】</p> <p>【経済】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体等からの様々な推薦依頼に公認会計士を推薦することによって、課題解決の一翼を担い、共助・共創型の社会を実現しています。 他土業と協力のうへ「よろず相談会」を開催し、専門家としてワンストップで相談に応じることで地域の住民や事業者の皆さんの会計・監査等の困りごとの解決を図っています。 <p>【社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰もが質の高い教育が受けられるような社会を目指し小学生を対象とした「会計教育講座」を無料で実施していきます。 SDGs 研修会を企画・立案し、公認会計士会員向け及び一般向けに無料で研修会を実施します。 <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 沖縄会事務局では会議資料やニュースレターをデジタル化・ペーパーレス化し、紙資源使用の無駄を削減することで森林保護及びCO2排出削減に貢献しています。 <p>【日本公認会計士協会の取組】</p> <p>日本公認会計士協会は持続可能な社会構築に向けた課題と取組を進めるうへで「SDGs 宣言」を策定し、公認会計士制度創設 100 周年である 2048 年に向け、公認会計士が目指すべき姿を「持続・発展可能な社会を共に築くプロフェッショナルパートナー」とし、「社会への発信」「積極的な交流」「自らのイノベーション(意識改革)」の 3 つに積極的に取り組んでおります。</p> <p>【経済】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の信頼性確保を通じた国民経済の発展への寄与を使命とする会計士として財務書類等に加え、気候変動等の非財務情報ニーズを捉え、情報開示の発展と信頼性確保を通じ変化する資本市場とその発展に貢献します。 データ、デジタル技術を活用し組織やビジネスモデルを変革することを通じて、新たな日常に対応した経済社会の改革を進めていくことに貢献します。 <p>【社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域における産業育成や中小企業への経営支援、企業・自治体の健全な組織がバタスの構築支援等といった業務を通じて、地域経済活動等の活性化に貢献します。 ダイバーシティを推進するとともに、人への投資と働き方改革を進め、一人ひとりの能力を十分発揮できる働き方のモデルとなることを目指します。 <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した会務運営や働きやすい職場環境の整備等のイノベーションを続けることにより持続可能な社会構築に貢献していきます。 省エネ再生エネルギー活用強化をしております。 	

ゴールアイコン(15mm 四方)

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
12	株式会社 保険サービス 代表取締役 藤川 尚久	<p>私たちは、保険を通してお客様に安心・安全を提供し、お客様の満足度を高め、社員の幸せ、社会に貢献できる企業を目指し、地域社会や環境に対する責任を深く受け止め、下記の取り組みを通じて持続可能な未来の実現に向けた努力を継続します。</p> <p>【3. すべての人に健康と福祉を】 【8. 働きがいも経済成長も】 社員の健康は健全な会社経営の源であり、「心身ともに健康な社員」が、お客様の健康増進・回復を保険商品や適切なアドバイスを通じて実現します。 ●有給消化率 100%・人間ドッグ受診率 100%・定時退社・チャレンジ休暇制度を通して、すべての従業員が健康でやりがいがある職場環境づくりに取り組んでいます。 また、健康経営優良法人制度にも取り組んでいます。 ●ウォシュレット・音姫の設置など、身近なところから、女性が活躍できる職場、環境づくりに取り組んでいます。 ●飲酒運転は、運転手だけでなく、他の人たちや家族にも大変な影響を与えます。事故を減らし、従業員の健康と福祉を保障するため、さらには弊社の社会的責任を果たすため、アルコールチェックを実施しています。 ●たばこの害を理解し禁煙推進しており、訪問先へも禁煙を推進しています。 ●社員全員に対し損保トータルプランナー資格取得を推奨しています。 ●「お客さま本位の業務運営に係る取り組み方針」を定め、FD 宣言を公表し、社員一丸となって、お客さまの立場に立った健全な業務運営を実践しています。</p> <p>【4. 質の高い教育をみんなに】 ●私たちは適切な教育制度を活用して自らの知識を深め、情報提供することで、お客様の保険・金融に対するリテラシーを高めていただく一助となります。</p> <p>【11. 住み続けられるまちづくりを】 ●リスクコンサルティングを通じて企業活動・家庭生活のあらゆるリスクを想定した情報提供と保険商品を提案しています。</p>	 <p>3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を</p>

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取組み	関連するゴール
13	株式会社 山浩商事 代表取締役 山端 康成	<p>【SDGs の達成に向けた取組み】</p> <p>○経済分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の健康を推進するため毎年健康診断を実施（会社負担） ・ 熱中症対策として水筒を配布 ・ 小、中学生の職場体験 <p>○社会分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域学童野球の開催 ・ 就労支援センターの就業体験、障がい者雇用 ・ 様々な研修や資格取得のバックアップ ・ A E D 設置、地域ボランティア活動への積極的な参加 ・ 震災時等、募金活動や義援金の実施 <p>○環境分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経理、労務分野でのデジタル化（ペーパーレス化） ・ L E D 照明の導入や太陽光発電などの販売、施工 ・ 献血活動、自然保護活動（ビーチクリーンや清掃活動）等の取組み ・ 再生可能エネルギーの電力会社に切り替えて二酸化炭素の排出を削減 ・ L P ガス（クリーンエネルギー）の取り扱い <p>◆地域支援事業として創業 5 5 周年には地域や市内小中学校へ L E D 防犯灯 1 0 0 台設置 6 0 周年には名護市や各自治区に「微酸性次亜塩素酸水」を無料配布</p>	